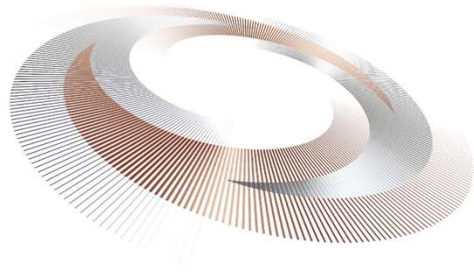


2025年3月期決算補足説明資料

2025年5月14日



皆さま、こんにちは。ご紹介にあずかりました。執行役社長の田中でございます。
本日は、弊社決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。



人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する

限りある資源を大切に使うために、使用済みの製品を資源として再生させる。

そこに新たな価値を付加し、再び社会に送り出す。

その循環のプラットフォームを構築し、自らプレイヤーとして価値を創出する。

そして未来に向けて、持続可能な社会の実現に力強く貢献し、循環の輪を広げていく。

目次

1. 社長就任にあたって	P.4
2. エグゼクティブサマリー	P.5
3. 2025年3月期業績	P.7
4. 2026年3月期業績予想	P.11
5. 配当予想	P.17
6. 参考情報	P.18

社長就任にあたって



田中 徹也

1986年4月	当社入社	
2019年4月	執行役員 加工事業カンパニー バイスプレジデント	
2020年4月	執行役常務 加工事業カンパニー プレジデント	
2023年4月	執行役常務 CGO	CGO=Chief Governance Officer
2024年4月	執行役常務 CSuO	CSuO=Chief Sustainability Officer
2025年4月	執行役社長（代表執行役） CEO	

経営の方針

- ・ 製造現場だけではなく、営業部門や開発部門、本社各部門などの全ての現場力を磨き上げ、イノベーションを起こして世界を相手に戦っていく。
- ・ 新たなマテリアル（お客様の期待を超える製品やサービス）を創造・提供することにより企業価値の向上を目指す。
- ・ 当社自身が変革することにより、急速な経済環境の変化に対応し、会社を絶えず発展させながら、当社の未来を作り上げていく。

今後の方向性・課題

- ・ 急速に変化する外部環境に対応した施策の検討・実行
- ・ 収益力の改善に向けた事業構造改革
- ・ サステナビリティ課題（マテリアリティ）への対応強化
- ・ 企業存続の土台となる安全・法令遵守・品質への対応強化

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

4

まず、はじめに、私より、社長就任にあたってのご挨拶をさせていただきます。
まずは、私の経歴ですが、1986年に入社以降、37年間加工事業に携わってまいりました。
2023年度以降は、コーポレート部門でコーポレートガバナンスやサステナビリティ活動を
所管しておりました。

次に、私の経営の方針は、以下の通りでございます。

- ・ 製造現場だけではなく、営業部門や開発部門、本社各部門などの全ての現場力を磨き上げ、イノベーションを起こして世界を相手に戦っていく。
- ・ 新たなマテリアル（お客様の期待を超える製品やサービス）を創造・提供することにより企業価値の向上を目指す。
- ・ 当社自身が変革することにより、急速な経済環境の変化に対応し、会社を絶えず発展させながら、当社の未来を作り上げていく。

このような経営方針のもと、当社の企業価値向上に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

また、今後の方向性・課題については、

足許、急速に変化する外部環境により、2025年度の業績予想が中経2030の2025年度目標に対して大きく乖離しております。これに対応する収益力の改善に向けた事業構造変革など諸施策の実行を進めてまいります。

また、サステナビリティ課題への対応強化や、企業存続の土台となる安全・品質への対応強化も進めてまいります。

皆様のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

続けて、次ページ以降で、決算につきましてご説明いたします。

エグゼクティブサマリ

2025年3月期 決算ハイライト

前年同期比で増収増益

売上高 19,620億円 前年同期比+4,214億円 (+27.4%)

- 為替の円安、金属価格上昇、金の生産増の影響などにより増収

営業利益 371億円 前年同期比+138億円 (+59.5%)

- 為替の円安、金属事業の実収効率改善などにより増益

経常利益 602億円 前年同期比+61億円 (+11.3%)

- 鉱山配当減、外貨建て債権債務の為替差損の発生が利益押し下げ要因となるも、営業利益の増加、持分法投資利益などにより増益

当期純利益 340億円 前年同期比+42億円 (+14.4%)

- 第4四半期に特別損失（固定資産の減損損失）を計上するも、経常利益の増加、PT. Smelting（インドネシア）の持分法化に伴う持分変動利益などにより増益

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

5

まずは、2025年3月期決算ハイライトです。

前年同期比で増収増益となりました。

売上高は、為替の円安、金属価格上昇・金の生産増の影響で4,214億円の増収となりました。

営業利益は、為替の円安に加え、金属事業の実収効率改善などにより138億円の増益となりました。

経常利益は、鉱山配当の減少や外貨建て債権債務の為替差損の発生が利益の押し下げ要因となりましたが、営業利益の増加や持分法投資損益の増加などにより61億円の増益となりました。

当期純利益は、第4四半期に固定資産の減損など特別損失を計上いたしましたが、経常利益の増加、第1四半期に持分法適用関連会社化した、インドネシアPT. smelting の持分利益変動などにより増益となりました。

続いて6ページをご覧ください。

エグゼクティブサマリ

2026年3月期 通期業績見通しハイライト

2025年3月期に対して減収減益の見込み

2026年3月期の前提と事業環境

- ・ 想定為替レートは140円/ドル
- ・ 米国の関税政策による影響は未織り込み
- ・ 銅価格前提は、前年度実績と同水準の425¢/lb
- ・ TC/RC（製錬マージン）は銅精鉱のひっ迫により前年度に対して大きく低下
- ・ 自動車需要は、日本では回復を見込めるが、グローバルでは不透明な状況
- ・ 半導体需要は、生成AI関連など先端分野のみ引き続き堅調の見通し

**売上高 18,700億円（△920億円）、営業利益 100億円（△271億円）、
経常利益 330億円（△272億円）、当期純利益 200億円（△140億円）**（ ）内は前年同期比

- ・ 金属： TC/RCの低下、為替の円高による為替差損などにより減益
- ・ 銅加工： 自動車向け需要の緩やかな回復に加え、AIサーバー関連の需要増により増益
- ・ 電子材料： AI関連など先端分野の需要増がけん引し増益
- ・ 加工： 自動車だけでなく、航空機・医療などのキアカウントに集中した営業活動で増益

1株当たり配当金は、2025年3月期と同額の100円（中間50円、期末50円）を予想

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

6

2026年3月期通期業績見通しのハイライトについてご説明いたします。

見通しの前提条件としまして、
為替前提は1ドル140円としております。
また、今回の見通しには米国の関税政策による影響は未織り込みとなっております。

事業環境につきましては、
金属事業での製錬マージンのTC/RCは大きく低下いたします。
自動車需要は、日本では回復が見込めますが、グローバルで見ますと不透明な需要状況であります。
また、半導体需要は、生成AI関連など先端分野は堅調に推移すると見ています。

それらの事業環境を踏まえまして、銅加工事業、電子材料事業、加工事業では増益を見込んでおります。その他収益改善の取り組みも進めますが、金属事業の減益影響が大きく、今期は減収減益と予想しております。

配当予想につきましては、業績予想は厳しいですが、中経3ヶ年のキャピタルアロケーションのバランスも勘案し、2025年3月期と同額の100円といたしました。
続いて、7ページからの詳細な決算内容につきましては、CFOの平野より説明させていただきます。

2025年3月期 連結業績概況

- ・ **通期**：為替の円安、金属価格上昇、金属事業の実収効率改善などにより増収増益
- ・ **1-3月実績**：直島製錬所の定修影響、特別損失の計上などにより増収減益

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	前年 同期比	%	24年3月期 1-3月実績	25年3月期 1-3月実績	前年 同期比	%
売上高	15,406	19,620	+4,214	+27.4%	4,590	4,783	+193	+4.2%
営業利益	232	371	+138	+59.5%	78	48	△30	△38.7%
受取配当金	240	201	△38	△16.0%	4	24	+19	+389.9%
持分法損益	115	175	+60	+52.2%	28	36	+7	+27.4%
経常利益	541	602	+61	+11.3%	104	33	△70	△67.6%
特別損益	△80	△102	△21	-	△67	△175	△108	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	297	340	+42	+14.4%	51	△150	△202	-
ドル為替 (円/\$)	145	153	+8	+5.5%	149	153	+4	+2.7%
ユーロ為替 (円/€)	157	164	+7	+4.5%	161	161	△0	△0%
銅価格 (¢/lb)	379	425	+46	+12.1%	383	424	+41	+10.7%
金価格 (\$/oz)	1,989	2,585	+596	+30.0%	2,072	2,862	+790	+38.1%
パラジウム価格 (\$/oz)	1,191	979	△212	△17.8%	978	961	△17	△1.7%

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

7

平野でございます。よろしくお願いいたします。
早速ですが、2025年3月期の連結業績概況についてご説明いたします。

まず左側の通期実績ですが、冒頭に社長の田中からの説明のとおり、

- ・ 金属価格および為替が円安に振れた影響で売上高は、前年同期比増収。
- ・ 営業利益段階では、金属事業における実収効率の改善、対米ドルでの期中円安影響、買鉱代金の支払いに係る為替予約の停止によるコスト削減により、前年同期比増益となりました。
- ・ また、経常利益段階においては、営業利益の増益に加え、一部、昨年度末対比で、期末に円高に振れた結果、外貨建債権債務の換算影響として為替差損を計上することになったものの、持分法投資利益の増加により前年同期比増益となりました。
- ・ 特別損益項目では、自動車産業向け製品需要、欧州市場における特に昨年度下期以降の一段の需要の軟化などにより、銅加工事業を営む当社工場の固定資産を中心に減損損失を特別損失として計上することとなりましたが、
- ・ 当期純利益は、前年同期比増益の340億円となりました。

他方、資料右側に掲載している第4四半期3か月の実績は、増収減益となっております。

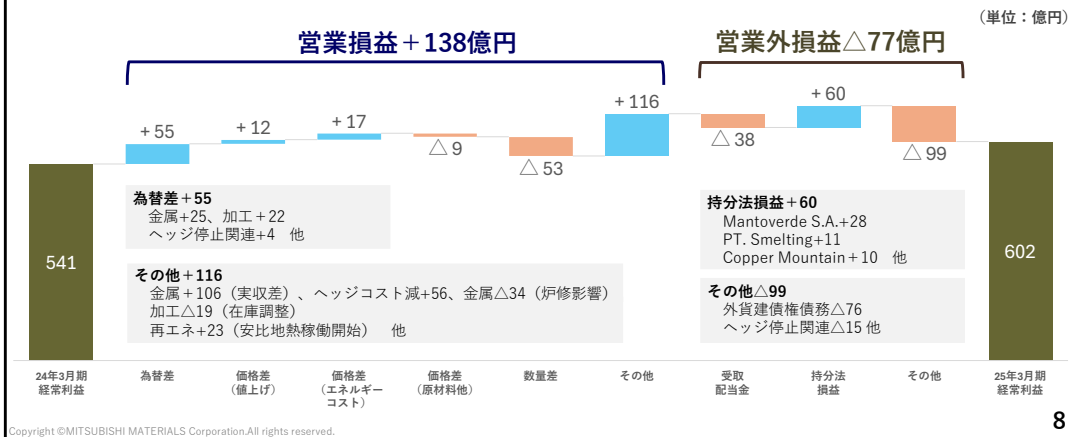
営業利益は、金属事業の実収効率の改善、銅加工での増益の一方で、直島製錬所の定期修繕の影響により減益となりました。

経常利益は、4Qにロスペランブレス銅鉱山からの配当がありましたが、外貨建債権債務に係る為替差損失の計上により減益となったものです。

当期純利益は、前述の固定資産の減損損失を4Qに計上したことで、150億円の赤字となりました。

2025年3月期実績（利益要因内訳）

- **営業利益371億円**（前年同期比+138億円の増益）
 主な要因 [+] その他（金属実収効率改善、ヘッジコスト減）、為替の円安による為替差益
 [△] 数量差（自動車向けなどの販売低調、PT. Smelting持分法化）、
 その他（直島炉修影響、加工事業の在庫調整 他）
- **経常利益602億円**（前年同期比+61億円の増益）
 主な要因 [+] 持分法投資利益増加
 [△] 銅鉱山からの受取配当金減、
 その他（外貨建債権債務の評価損、ヘッジ停止関連 他）



8

続く8ページには、2025年3月期と前年度実績の要因別の増減益分析を滝グラフで掲載しております。

ページ下段のグラフにより、先のご説明の通り、営業損益では実収差、為替差、ヘッジコストの減少が増益に寄与していることがご覧いただけるかと思います。

また営業外損益についても同様に、外貨建債権債務の期末換算影響が比較的大きな金額で利益を押し下げている一方、持分法損益の増加が前年比で利益を持ち上げていることをご確認いただけるかと思います。

9ページをご覧ください。

2025年3月期 セグメント別利益概況					(単位：億円)	
		24年3月期 実績	25年3月期 実績	前年 同期比	主な利益ベースの増減要因	
金属	営業利益	98	231	+132	[営業損益] 為替差 +30、価格差 +12、数量差 △15、 その他 +106	
	経常利益	310	411	+101	[営業外損益] 受取配当金 △35、持分法損益 +54、 その他△51	
高機能	銅加工	営業利益	26	30	+4	[営業損益] 為替差 +3、価格差 △7、数量差 △14、 その他+22
		経常利益	△5	△10	△4	[営業外損益] 受取配当金 +0、その他△8
	電子材料	営業利益	17	32	+15	[営業損益] 為替差 +2、価格差 △2、数量差 △7、 その他 +22
		経常利益	28	49	+21	[営業外損益] 受取配当金△0、持分法損益 +2、 その他+4
加工	営業利益	108	88	△19	[営業損益] 為替差 +22、価格差 +18、数量差 △19、 その他 △40	
	経常利益	122	85	△37	[営業外損益] 受取配当金 +0、持分法損益 +0 その他△17	
再生可能 エネルギー	営業利益	8	23	+15	[営業損益] 価格差 △1、数量差 △4、その他 +20	
	経常利益	8	26	+17	[営業外損益] 受取配当金 +0、持分法損益 +2、その他+0	
その他	営業利益	78	54	△23	[営業損益] 為替差△1、価格差 +0、数量差 +3、その他 △25	
	経常利益	221	185	△35	[営業外損益] 受取配当金 △5、持分法損益 +2、その他 △9	
合計	営業利益	232	371	+138		
	経常利益	541	602	+61		

※連結調整額は含めておりません。

9

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

※連結調整額は含めておりません。

9

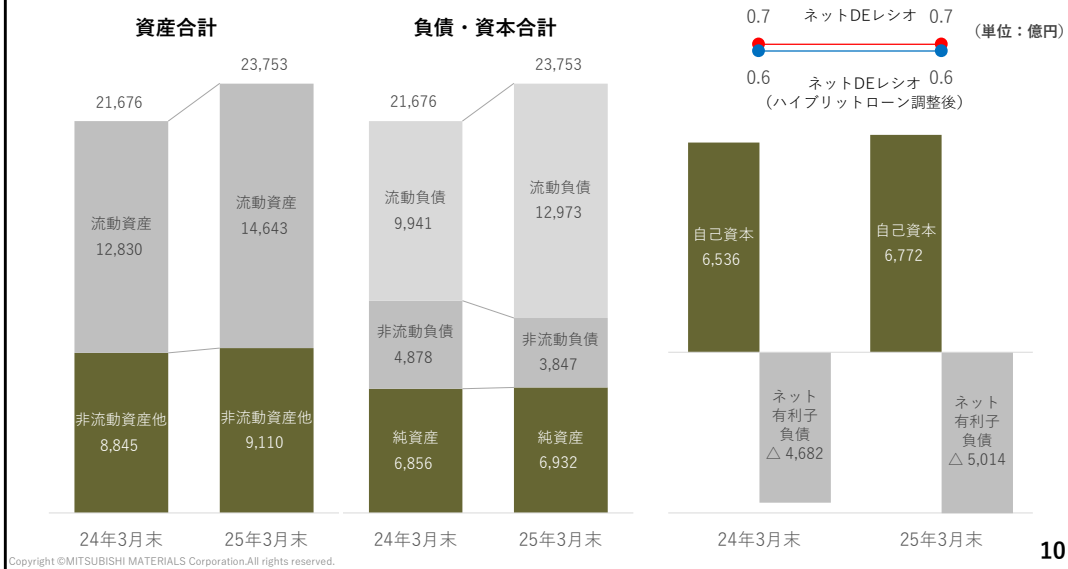
こちらは、2025年3月期の実績をセグメント別に前年実績と対比したものです。
この資料では、連結営業利益138億円の増益は、主に金属事業の増益から構成されていること、また、連結経常利益61億円の増益は、主に金属事業の増益と加工事業の減益から構成されていることがお分かりいただけるかと思います。

金属事業における増益要因は、既にご説明の通りです。
加工事業の主な減益要因につきましては、営業損益においては、日本での下期に加速した欧州での販売数量減による減益、および決算短信p.17にも記載のH.C. Starck社買収費用（約12億円）が主な内容、営業外損益においては外貨建債権債務の評価損の計上によるものです。

続く10ページは、2025年3月末時点の連結財政状況を示しています。

連結財政状態

- 為替の円安、金属価格の上昇により棚卸資産・貸付金地金が増加し、総資産が増加
- ネットDEレシオは、中経2030 Phase 1目標水準の0.7倍



総資産が前年比で2,077億円増加していますが、期中の円安・金属価格の上昇による棚卸資産、貸付金地金残高の増加が主因となります。
また、ネットDEレシオは、期中の運転資本の増加に関わらず前期末同水準を維持しています。
11ページをご覧ください。

2026年3月期 通期予想・前提条件

- ・米国の関税政策による影響は未織り込み
- ・自動車向け需要の緩やかな回復に加え、半導体需要は生成AI関連など先端分野の好調が継続
- ・コスト削減などの収益改善に引き続き取り組むが、TC/RCの大幅な低下や前年度に対して円高方向の為替前提により減収減益予想

(単位：億円)

連結損益計算書	25年3月期 実績	26年3月期 予想	増減	為替・金属価格	25年3月期 実績	26年3月期 予想	増減
売上高	19,620	18,700	△920	ドル為替 (円/\$)	153	140	△13
営業利益	371	100	△271	ユーロ為替 (円/€)	164	160	△4
受取配当金	201	208	+6	銅価格 (¢/lb)	425	425	0
持分法損益	175	213	+38	金価格 (\$/oz)	2,585	2,700	+115
経常利益	602	330	△272	パラジウム価格 (\$/oz)	979	1,000	+21
特別損益	△102	△50	+52	感応度*1		影響額	
親会社株主に帰属 する当期純利益	340	200	△140	ドル為替	営業利益±1円/\$	6.1	
				ユーロ為替	営業利益±1円/€	1.5	
				銅価格	(a)営業利益±10¢/lb	5.9	
					(b)営業外損益±10¢/lb	22.8	
					(a+b)経常利益±10¢/lb	28.7	
ROIC (%)	4.2	2.8	△1.4				
ROE (%)	5.1	2.8	△2.3				

*1：感応度に在庫評価影響は含んでおりません。

11

2026年3月期の通期予想及び前提条件をお示ししています。

後ほど滝グラフでもご覧いただきますが、円高進行予想と、TC/RC低下影響を主因として減収減益を見込んでおります。

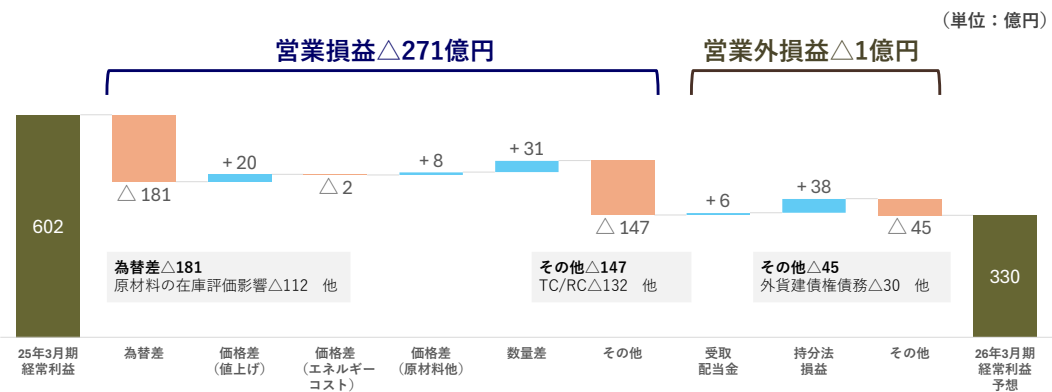
この見通しに対しては、冒頭で社長の田中よりご説明の通り、当社では現在、収益力改善に向けた事業構造改革及びその他諸施策の実行を進めております。

これに伴い、今期発生すると現時点において見込まれる損失の額内訳については50億円を2026年3月期の予想の中に織り込んでおります。

12ページをご覧ください。

2026年3月期見通し（利益要因内訳）

- 営業利益100億円（前年同期比△271億円の減益）
 主な要因[+]価格差（値上げ、金属価格上昇など）、数量差（半導体向け一部製品など）
 [△]為替差、その他(TC/RC低下)
- 経常利益330億円（前年同期比△272億円の減益）
 主な要因[+]持分法投資利益（マントベルデ銅鉱山）
 [△]その他（外貨建債権債務の評価損 他）



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

12

こちらが、業績見通しに関する滝グラフであり、金額の大きなものにメモをつけてください。為替影響・TC/RC低下影響をどの程度の金額、計画に織り込んでいるのかはこちらのグラフでご確認頂ければと思います。

2026年3月期 セグメント別利益概況					(単位：億円)	
		25年3月期 実績	26年3月期 予想	前年 同期比	主な増減要因	
金属	営業利益	231	△58	△289	[営業損益] 為替差 △156、価格差 +40、数量差 △12、 その他 △161	
	経常利益	411	168	△243	[営業外損益] 受取配当金 +8、持分法損益 +52、その他 △14	
高機能	銅加工	営業利益	30	73	+42	[営業損益] 為替差 △3、価格差 △21、数量差 +55、その他 +11
		経常利益	△10	26	+37	[営業外損益] 受取配当金 △1、その他 △4
	電子材料	営業利益	32	40	+7	[営業損益] 為替差 △5、価格差 △18、数量差 +45、 その他 △14
		経常利益	49	53	+3	[営業外損益] 受取配当金 +0、持分法損益 △3、その他 △2
加工	営業利益	88	97	+9	[営業損益] 為替差 △17、価格差 +4、数量差 +25、 その他 △4	
	経常利益	85	83	△2	[営業外損益] 受取配当金 △3、持分法損益 +1、その他 △7	
再生可能 エネルギー	営業利益	23	13	△9	[営業損益] 数量差 △5、その他 △4	
	経常利益	26	12	△13	[営業外損益] 受取配当金 +0、持分法損益 △4	
その他	営業利益	54	7	△46	[営業損益] 価格差 +22、数量差 △76、その他 +8	
	経常利益	185	134	△51	[営業外損益] 受取配当金 +0、持分法損益 △8、その他 +3	
合計	営業利益	371	100	△271		
	経常利益	602	330	△272		

※連結調整額は含めておりません。

13

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

※連結調整額は含めておりません。

13

続く13ページには、セグメント別の業績見通しを示しております。
連結全体の減益要因の内訳としてはやはり、金属事業での為替・TC/RC（製錬マージン）低下影響が大きい一方で、鉱山側からの配当収入や持分法適用関連会社から取り込む損益については、これらの合計で60億円の増益を予想しています。
その他、銅加工事業、電子材料事業、加工事業については主に数量差の増加による増益を見込んでおりますが、背景要因については、資料p.6エグゼクティブサマリの中に記載しております。

コスト競争力強化

- ・中経2030では、2026年3月までに累計約90億円のコスト削減を実施する計画
- ・2025年3月期は、事業環境悪化を踏まえ、金属事業、高機能製品、加工事業では追加削減策を進め、再エネはほぼ計画通り。2026年3月期も各セグメントでコストダウンを推進

(単位：億円)

コストダウン計画	24年3月期		25年3月期		26年3月期	
	中経計画	実績	中経計画	実績	中経計画	見込み
金属 ・ヘッジコスト、スラグコスト、エネルギーコスト削減	0	47	0.1	100	26	140
高機能製品 銅加工 ・歩留改善、固定費削減（労務費・外部委託費等） 電子材料 ・固定費削減（労務費等）、生産性の向上	17	16	24	30	32	54
加工 ・製造原価低減 ・子会社でのコストダウン	9	21	19	37	30	57
再エネ ・発電所運転経費削減 ・発電所の自動運転による運営効率化等	0	0.3	0.2	0.3	0.2	0.5
事業合計	26	84	44	168	88	252

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

14

14ページ目は、中経Phase 1期間における取組み施策の一つである「コスト競争力の強化の進捗状況」をお示ししています。

各年度の実績は2024年3月期からの累計額を記載しておりますので、2025年3月期単年度では、84億円のコスト削減ができております。

内訳として一番大きかったものは、「金属事業」で、全体84億円のうちの56億円のコスト削減達成ということになりますが、これは、資料p.8の滝グラフにコメントの通りヘッジコストの削減 56億円が主な内容です。

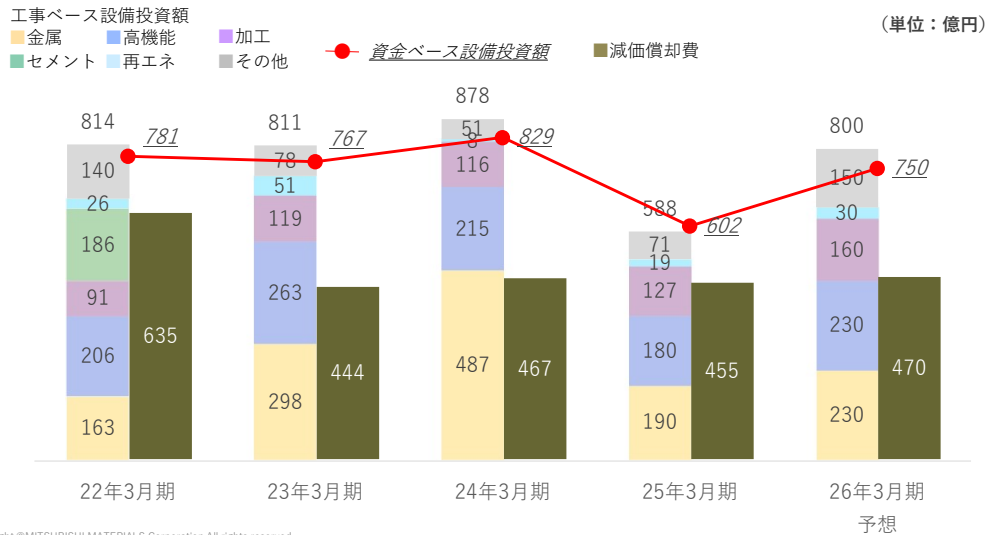
残り30億円は、各事業の原価低減活動の積み上げから成っているため、当社の滝グラフでは、「価格差」や「その他」に入っています。

これは2026年3月期についても同様です。

中経計画は既に達成しているものの、収益性改善のためには一層のコストダウンが必要と認識しており、2026年3月期についても継続して取り組む計画です。

減価償却費・設備投資額

- 2025年3月期：足許の事業環境から設備投資の先送り、絞り込みを実施に加え、PT. Smeltingの持分法化により588億円（前年同期比 △290億円）
- 2026年3月期：工事ベースで800億円（前年同期比+212億円）の見込み



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

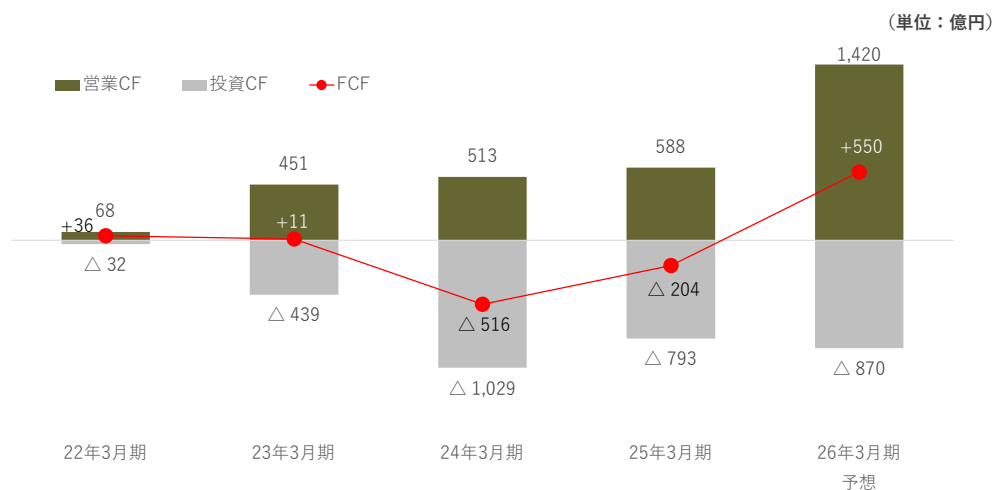
15

続く15ページは、減価償却費及び設備投資額の推移です。

昨年度は事業環境が変化する中で、内容や実施のタイミングを見直すなどし、2024年3月期比で設備投資額を減少させていますが、2026年3月期は2024年3月期並みの水準を計画しています。

キャッシュフロー

- 2025年3月期のFCFは、棚卸資産の増加に加え、2024年12月のH.C.Starck社の株式取得等により、△204億円(前年同期比+311億円)
- 2026年3月期のFCFは、棚卸資産の減少等により550億円(前年同期比+754億円)を見込む



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

16

キャッシュフローの推移です。

2025年3月期のフリーキャッシュフローは、期中における円安の進行と金属価格の上昇により運転資本が増加したことに加え、H.C. Starck社の株式取得等により△204億円となりました。

一方、2026年3月期のフリーキャッシュフローは、為替の円高による棚卸資産の減少等により+550億円を見込んでいます。

17ページをご覧ください。

配当予想

- 2026年3月期通期業績は、低TC/RCや為替の影響などにより減収減益を見込むも、期間収益、内部留保、財務体質等の経営全般にわたる諸要素を総合的に勘案し、以下の理由により、2025年3月期同様に100円（中間50円、期末50円）の配当を予想
 - 財務健全性は、中経2030 Phase1における計画水準を確保できる見通し
 - 中経2030 Phase1における必要な投資は概ね完了
 - 中経2030 Phase1のキャピタルアロケーションの配分比率として適切な範囲内

	24年3月期 実績	25年3月期 予定	26年3月期 予想	累計	中経2030 Phase 1計画
年間配当（円）	94	100	100	294	-
配当総額（億円）	123	131	131	385	-
配当性向	41.2%	38.3%	65.3%	45.8%	30%を目途
ネットDEレシオ	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7

株主還元方針

- 株主に対する利益還元が経営の最重要目的の一つであるという認識のもと、利益配分については、期間収益、内部留保、財務体質等の経営全般にわたる諸要素を総合的に判断の上、決定する方針。
- 中経2030期間中の利益配分については、Phase 1（2024年3月期から2026年3月期）において、配当性向30%を目途に利益還元を行う。

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

17

最後は、配当予想についてでございます。

2026年3月期の当期純利益の見通しは、200億円と減益を見込んでおりますが、

- ・財務健全性は、中経2030 Phase1における計画水準を確保できる見通し
- ・中経2030 Phase1における必要な投資は概ね完了
- ・中経2030 Phase1のキャピタルアロケーションの配分比率として適切な範囲内

であることから、期間収益に対する配当の比率という意味での配当性向としては、配当方針に示す目安の30%を超えますが、昨年度同様に100円（中間50円、期末50円）の配当を予想しています。

参考情報

セグメント概況（金属事業）



- **2025年3月期実績：**ロスペランプレス銅鉱山からの配当減少、4Qの直島製錬所の炉修の影響での数量減が発生するも、為替が円安で推移したことによる為替差、ヘッジ停止の増益、金属の実収効率改善、持分法投資損益の増でカバーし経常利益は411億円（前年同期比+101億円）。
- **2026年3月期予想：**金属価格の上昇、マントベルデ銅鉱山などの持分法投資利益の増、銅鉱山からの配当金増など増益面がある一方、TC/RC低下、為替円高進行による為替差、ヘッジ停止影響により経常利益は169億円（前年同期比△243億円）を見込む。

項目	24年3月期 実績	25年3月期 実績	増減	25年3月期 実績	26年3月期 予想	増減
売上高 億円	10,380	14,336	+3,956	14,336	12,718	△1,617
営業利益 億円	98	231	+132	231	△58	△289
経常利益 億円	310	411	+101	411	168	△243
ROIC %	5.0	7.2	+2.2	7.2	3.4	△3.8

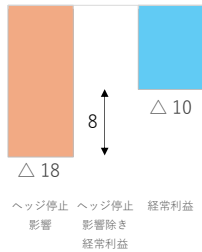
422 -11 ヘッジ停止 影響 ヘッジ停止 影響除き 経常利益	24年3月期経常利益実績	310	25年3月期経常利益実績	411
	為替差	+30	為替差	△156
	価格差	+12	価格差	+40
	数量差	△15	数量差	△12
	受取配当金	△35	受取配当金	+8
	持分法損益	+54	持分法損益	+52
	その他	+55	その他	△175
	25年3月期経常利益実績	411	26年3月期経常利益予想	168

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

セグメント概況（銅加工事業）

- **2025年3月期実績**：為替の円安進行および銅価格の大幅上昇などの増益面があったが、自動車などの需要低迷をカバーできず、経常利益は△10億円（前年同期比△4億円）。ヘッジ停止影響（△18億円）を除く経常利益は8億円。
- **26年3月期予想**：半導体向け一部製品の需要回復、既存顧客への拡販により経常利益は26億円（前年同期比+37億円）を見込む。

項目	24年3月期 実績	25年3月期 実績	増減	25年3月期 実績	26年3月期 予想	増減
売上高 億円	4,102	4,336	+234	4,336	4,702	+366
営業利益 億円	26	30	+4	30	73	+42
経常利益 億円	△5	△10	△4	△10	26	+37
ROIC %	0.6	0.8	+0.2	0.8	2.1	+1.3



24年3月期経常利益実績	△5
為替差	+3
価格差	△7
数量差	△14
その他	+14
25年3月期経常利益実績	△10

25年3月期経常利益実績	△10
為替差	△3
価格差	△21
数量差	+55
その他	+7
26年3月期経常利益予想	26

セグメント概況（電子材料事業）

- **2025年3月期実績**：半導体関連製品の一部需要に回復の兆しがみられた一方で、ターゲット事業撤退やシール製品の客先の在庫調整などの影響で売上高は前年並み。営業利益は棚卸資産の在庫評価損の減少などにより32億円（前年同期比+15億円）。
- **2026年3月期予想**：半導体向け一部製品の需要回復により、経常利益は53億円（前年同期比+4億円）を見込む。

項目	24年3月期 実績	25年3月期 実績	増減	25年3月期 実績	26年3月期 予想	増減
売上高 億円	799	779	△20	779	882	+103
営業利益 億円	17	32	+15	32	40	+7
経常利益 億円	28	49	+21	49	53	+3
ROIC %	3.3	5.2	+1.9	5.2	4.9	△0.3
			24年3月期経常利益実績	28	25年3月期経常利益実績	49
			為替差	+2	為替差	△5
			価格差	△2	価格差	△18
			数量差	△7	数量差	+45
			受取配当金	+0	受取配当金	+0
			持分法損益	+2	持分法損益	△3
			その他	+26	その他	△16
			25年3月期経常利益実績	49	26年3月期経常利益予想	53

セグメント概況（加工事業）



- **2025年3月期実績**：円安進行と値上げ効果等により、前年同期比売上高増加。
一方、自動車向け需要の低調・原材料コストの上昇等により、経常利益は 85億円（前年同期比△37億円）。
- **2026年3月期予想**：自動車市場の需要低迷が継続、自動車以外の分野を中心に増販も円高の影響などがあり経常利益は前年度と同水準を見込む。

項目		24年3月期 実績	25年3月期 実績	増減
売上高	億円	1,400	1,488	+87
営業利益	億円	108	88	△19
経常利益	億円	122	85	△37
ROIC	%	5.2	3.1	△2.1

24年3月期経常利益実績	122
為替差	+22
価格差	+18
数量差	△19
受取配当金	+0
その他	△57
25年3月期経常利益実績	85

	25年3月期 実績	26年3月期 予想	増減
売上高	1,488	2,145	+657
営業利益	88	97	+9
経常利益	85	83	△2
ROIC	3.1	3.7	+0.6

25年3月期経常利益実績	85
為替差	△17
価格差	+4
数量差	+25
受取配当金	△3
その他	△10
26年3月期経常利益予想	83

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation.All rights reserved.

UBE三菱セメント社概況

■UBE三菱セメント社連結損益計算書				(単位：億円)	■UBE三菱セメント社諸元					
項目		24年3月期 実績	25年3月期 実績	26年3月期 通期予想	項目		24年3月期 実績	25年3月期 実績	26年3月期 通期予想	
売上高	国内事業	4,071	3,770 (3,795)	3,800	セメント (国内総需要)	万 t	3,458	3,265 (3,300)	3,200	
	海外事業	1,781	1,840 (1,825)	1,900	セメント (国内)販売数量	万 t	820	775 (790)	775	
	計	5,852	5,610 (5,620)	5,700	セメント (米国)販売数量	万st	173	161 (160)	170	
営業 利益	国内事業	150	175 (175)	220	生コン (米国)販売数量	万cy	674	619 (625)	670	
	海外事業	306	332 (305)	300	一般炭価格 (参考指標)	\$/ t	142	130 (141)	150	
	計	456	508 (480)	520	ドル為替	円/\$	145	153 (151)	145	
経常利益		476	528 (480)	520	※上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。					
親会社株主に帰属 する純利益		245	302 (260)	280	(参考) 25年3月末 連結貸借対照表 (単位：億円)					
■当社持分法投資損益					()は2025年2月13日に発表した予想					
持分法投資損益		138	140 (117)	132	総資産	8,070	有利子負債	1,773	自己資本	3,703
					自己資本 比率	45.9%	ネットD/E レシオ	0.2		
・国内事業：2025年3月期は、セメントや石炭、電力の販売数量が減少したものの、セメントや生コン、骨材等の値上効果及び熱エネルギー価格低下が寄与し、国内事業全体では前年同期比で減収増益となった。2026年3月期は、2年に1度のIPP大型補修による電力販売減少等はあるものの、セメントの値上効果により、増収増益を見込む。 ・海外事業：2025年3月期は、米国事業は、セメント、生コンの販売数量は減少したものの、値上効果及び為替影響が寄与し、前年同期比で増収増益となった。一方、豪州石炭事業は販売価格の下落により、前年同期比で減収減益となった。2026年3月期は、米国事業は、値上や需要回復に伴う販売数量の増加を見込むものの、原材料費や人件費等のコスト上昇の影響により増収減益。豪州事業は、石炭価格下落の影響により減収減益を見込む。										

セグメント別内訳

(単位：億円)

項目	24年3月期 実績(a)			25年3月期 実績(b)			26年3月期 予想(c)			増減 (b-a)			増減 (c-b)		
	売上高	営業 利益	経常 利益	売上高	営業 利益	経常 利益	売上高	営業 利益	経常 利益	売上高	営業 利益	経常 利益	売上高	営業 利益	経常 利益
金属	10,380	98	310	14,336	231	411	12,718	△58	168	+3,956	+132	+101	△1,617	△289	△243
高機能製品 *1	4,887	40	18	5,103	56	31	5,544	110	76	+216	+15	+13	+440	+53	+44
銅加工	4,102	26	△5	4,336	30	△10	4,702	73	26	+234	+4	△4	+366	+42	+37
電子材料	799	17	28	779	32	49	882	40	53	△20	+15	+21	+103	+7	+3
加工	1,400	108	122	1,488	88	85	2,145	97	83	+87	△19	△37	+657	+9	△2
再生可能 エネルギー	46	8	8	83	23	26	77	13	12	+36	+15	+17	△5	△9	△13
その他	1,606	78	221	1,576	54	185	1,294	7	134	△29	△23	△35	△282	△46	△51
調整額	△2,913	△101	△140	△2,967	△83	△137	△3,080	△71	△144	△53	+17	+2	△113	+12	△6
合計	15,406	232	541	19,620	371	602	18,700	100	330	+4,214	+138	+61	△920	△271	△272

*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

前年実績対比（セグメント別要因内訳）

（単位：億円）

項目		24年3月期 実績 (a)	25年3月期 実績 (b)	増減 (b - a)	為替差	価格差	数量差	受取 配当金	持分法 損益	その他
金属	営業利益	98	231	+132	+30	+12	△15	-	-	+106
	経常利益	310	411	+101	+30	+12	△15	△35	+54	+55
高機能製品 * 1	営業利益	40	56	+15	+5	△9	△21	-	-	+40
	経常利益	18	31	+13	+5	△9	△21	+0	+1	+37
銅加工	営業利益	26	30	+4	+3	△7	△14	-	-	+22
	経常利益	△5	△10	△4	+3	△7	△14	-	-	+14
電子材料	営業利益	17	32	+15	+2	△2	△7	-	-	+22
	経常利益	28	49	+21	+2	△2	△7	+0	+2	+26
加工	営業利益	108	88	△19	+22	+18	△19	-	-	△40
	経常利益	122	85	△37	+22	+18	△19	+0	+0	△57
再生可能 エネルギー	営業利益	8	23	+15	+0	△1	△4	-	-	+20
	経常利益	8	26	+17	+0	△1	△4	+0	+2	+20
その他	営業利益	78	54	△23	△1	+0	+3	-	-	△25
	経常利益	221	185	△35	△1	+0	+3	△5	+2	△34
調整額	営業利益	△101	△83	+17	-	-	-	-	-	+17
	経常利益	△140	△137	+2	-	-	-	-	-	+2
合計	営業利益	232	371	+138	+55	+20	△53	-	-	+116
	経常利益	541	602	+61	+55	+20	△53	△38	+60	+17

* 1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

四半期業績の推移 セグメント別

(単位：億円)

項目		24年3月期							25年3月期						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
金属	売上高	2,409	2,358	4,768	2,395	3,216	5,611	10,380	3,900	3,424	7,324	3,625	3,385	7,011	14,336
	営業利益	16	54	71	△3	30	27	98	88	136	224	△1	8	7	231
	経常利益	26	58	84	198	27	225	310	121	58	180	237	△6	231	411
高機能製品 *1	売上高	1,205	1,224	2,429	1,253	1,204	2,457	4,887	1,323	1,288	2,611	1,243	1,248	2,491	5,103
	営業利益	4	3	8	16	16	32	40	23	△33	△10	35	31	66	56
	経常利益	2	△0	1	8	8	16	18	20	△43	△23	31	23	54	31
銅加工	売上高	1,016	1,027	2,043	1,059	999	2,058	4,102	1,130	1,098	2,229	1,049	1,057	2,107	4,336
	営業利益	5	5	10	8	7	15	26	17	△32	△14	19	25	45	30
	経常利益	△0	△1	△2	△2	△1	△3	△5	8	△42	△34	10	13	23	△10
電子材料	売上高	189	199	388	201	208	410	799	198	189	388	196	194	390	779
	営業利益	1	△1	0	7	9	17	17	7	1	9	15	8	23	32
	経常利益	4	2	6	9	11	21	28	14	1	16	20	12	33	49
加工	売上高	350	347	698	349	352	702	1,400	381	364	746	363	378	741	1,488
	営業利益	32	19	52	29	25	55	108	29	38	68	0	20	20	88
	経常利益	41	22	63	27	31	59	122	34	28	63	3	18	21	85
再生可能 エネルギー	売上高	12	10	22	12	11	23	46	23	21	45	18	19	38	83
	営業利益	3	△0	2	3	2	5	8	9	7	16	3	3	6	23
	経常利益	3	△0	3	2	3	5	8	12	5	18	4	3	7	26
その他	売上高	334	390	725	417	463	880	1,606	350	376	727	406	443	849	1,576
	営業利益	△1	16	15	16	45	62	78	6	15	21	17	15	32	54
	経常利益	20	62	82	51	87	138	221	40	49	89	58	37	95	185
調整額	売上高	△686	△795	△1,482	△774	△657	△1,431	△2,913	△842	△717	△1,559	△716	△691	△1,407	△2,967
	営業利益	△18	△12	△31	△27	△42	△70	△101	△28	△16	△45	△8	△30	△38	△83
	経常利益	△24	△27	△51	△35	△53	△88	△140	△43	△35	△79	△16	△41	△58	△137
合計	売上高	3,626	3,535	7,161	3,653	4,590	8,244	15,406	5,137	4,758	9,895	4,941	4,783	9,724	19,620
	営業利益	37	81	119	34	78	113	232	128	147	275	47	48	95	371
	経常利益	69	114	184	252	104	356	541	186	62	249	319	33	353	602

*1: 高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

諸元

主要製品の生産・販売動向

項目			24年3月期							25年3月期							26年3月期
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期予想
電気銅	生産量	千 t	96	109	204	95	113	208	413	112	102	214	98	85	183	398	417
	販売量	千 t	86	99	186	92	111	203	388	102	93	195	88	79	167	362	389
金	生産量	t	9	6	14	4	8	12	26	9	9	19	10	10	19	38	31
	販売量	t	8	6	14	4	8	12	26	9	9	19	10	10	19	38	31
銀	生産量	t	66	61	126	44	65	109	235	81	75	156	69	75	144	301	275
	販売量	t	65	61	126	39	71	110	236	82	74	156	69	76	145	302	275
伸銅品	販売量	千 t	29	31	61	32	31	63	124	29	29	58	31	29	60	117	135

鉱山配当額の推移

項目			24年3月期							25年3月期							26年3月期
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期予想
Los Pelambres	配当額	億円	－	－	－	208	1	210	210	－	－	－	137	22	160	160	156
Escondida	配当額	億円	6	3	9	9	2	12	21	8	－	8	27	－	27	36	48
鉱山配当額計	配当額	億円	6	3	9	217	4	222	231	8	－	8	164	22	187	196	204

金属価格・為替の推移

項目			24年3月期							25年3月期							26年3月期
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期予想
ドル為替レート	円/\$		137	145	141	148	149	148	145	156	149	153	152	153	153	153	140
ユーロ為替レート	円/€		149	157	153	159	161	160	157	168	164	166	163	161	162	163	160
銅価格(LME)	¢/lb		385	379	382	371	383	377	379	442	417	430	416	424	420	425	425
金価格	\$/oz		1,978	1,929	1,954	1,976	2,072	2,024	1,989	2,338	2,476	2,407	2,662	2,862	2,762	2,585	2,700
パラジウム価格	\$/oz		1,449	1,251	1,350	1,085	978	1,031	1,191	972	970	971	1,011	961	986	979	1,000

持分法投資損益内訳

(単位：億円)

会社名	当社 持分	24年3月期							25年3月期							26年3月期
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期予想
Copper Mountain Mine(BC)Ltd.	25%	△4	△17	△22	5	△5	0	△22	0	△6	△6	0	△5	△5	△11	△5
Mantoverde S.A.	30%	△12	2	△10	△2	△10	△13	△23	△2	△4	△6	6	5	12	5	49
PT.Smelting *1	34%	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	2	3	6	11	15
関西リサイクルシステムズ	41.4%	1	1	2	1	1	2	5	1	1	3	1	1	2	5	5
フジクラダイヤケーブル *2	22%	2	1	4	2	2	5	9	3	0	4	3	3	7	11	8
湯沢地熱	30%	0	0	0	2	1	4	4	3	△0	3	2	1	3	7	3
UBE三菱セメント	50%	20	47	67	29	41	70	138	36	36	72	43	25	68	140	132
その他		1	1	2	1	△2	△0	2	2	△0	1	1	3	6	7	6
合計		7	37	45	41	28	70	115	45	31	76	63	36	99	175	213

*1:第三者割当増資の完了に伴って持分比率が低下したため、25年3月期第2四半期より持分法適用関連会社として損益取り込み

*2:24年3月期当社持分22.5%、25年3月期当社持分22%

お問合せ先

**三菱マテリアル株式会社
IR室**

〒100-8117 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル

ml-mmcir@mmc.co.jp

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/index.html>

<お知らせ>

最新の適時開示など、当社IRに関する情報のメール配信サービスをご希望の方は、
以下のURLからご登録ください

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/ir/irmail.html>

<免責事項>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。
実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。
本資料に掲載されている内容・写真・図表などの無断転載を禁止します。